



ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



2018年度事業計画・予算を決定 年次総会の開催

4月22日(土)午後2時より、2018年度の年次総会が開催され、2017年度決算報告と活動報告、及び2018年度事業計画と予算案が共に承認されました。

出席者は正会員数26名中、本人出席10名、委任状2名、計12名でした。主な論点は以下の通りです。

☆2017年度活動報告と決算報告

- 「参加型エコツーリズム事業」では、879本をPhyauk Seik Pin村に植林した。
- インダイン村の「ゴミ収集・処理プロジェクト」で開発されたインダイン・モデルを他の村に普及するためのワークショップを開催し、7つの村の村長の賛同を得ることが出来た。
- 「ミャンマー青少年支援事業」では、2017年5月より日本語教室を、小中学生対象の初級と学生・社会人対象の中級が開始された。奨学金は2016年度分を14名に授与した。
- 「写真愛好家のためのエコツーリズム」については、ツアーの見積もりを提示したが、同様の香港でのツアーより割高ということで、実現に至らなかった。
- 決算報告では、合計979,221円が次期繰越となる。

☆2018年度事業計画と予算案

- 役員体制は改選期に当たり、前期に引き続き藤村会長(事務局長を兼務)菊池副会長、神田理事、平湯理事、藤本監事が運営することになった。
- 「参加型エコツーリズム事業」のツアーは、8月18日(日本出発日)から8月28日(帰国日)の旅程で、これまで植林した7つの村で枯死したりして生育の悪かった箇所への補植700本の植林を予定する。
- 植林ツアーの参加学生については、従来とは異なり、学部3、4年生を中心に、5人を募集し、卒業論文のテーマを見つけるためのフィールド・ワークを実施し、これに助言・支援を行うこととする。
- 「ミャンマー青少年支援事業」については、従来の奨学金に加え、運営費の支援を行うこととし、奨学金に2400ドル、運営費補助に50万円を充てる
- 「農村開発支援事業」では、タンシンチェ村で「ネリカ米」の試験栽培を種を入手できれば再度実施する。
- 「ゴミ収集・処理」プロジェクトは、7つの村の進捗状況を把握するためのワークショップを開催する。
- 「広報事業」では、6月30日、7月1日開催予定の「ミャンマー祭り」に本年度も参加する。
- 「学生部の活動」では、バガンの小学校の環境教育改善の進め方について、先生達と十分討議・検討して新規モジュールを開発する。同時に在日ミャンマー人留学生との交流を深める。

ゴミ収集処理のインダイン・モデルを 7つの村に普及することに合意

4月2日、6つの村から代表各3名とニャンウー県知事、および民間NGOの「プラステックキャンペーン」を含む31名が参加して、ゴミ収集・処理のインダイン・モデルを他の村々に普及するためのワークショップをパートナーのThe Nature Loversとの共催で開催しました。



近年、各村には電気が導入されて、急速に近代化が進みつつあり、冷蔵庫等の電化製品が普及してきています。その結果、家庭の消費が着実に増大しつつあり、同時に家庭から排出されるゴミの量が著しく増大してきています。そこで、予てから実施してきたインダイン村でのゴミ収集・処理の仕組みを5つの要素でモデルとして一般化し、これを他の6つの村に普及することにしました。

☆ゴミ処理のための「インダイン・モデル」の5要素

上記「インダイン・モデル」は下記5つの要素から構成。

- ① 美化委員会の設置(村の行政の一環として運営)
- ② 中間焼却施設の整備
- ③ ゴミ回収箱の設置
- ④ 村民への環境教育(小学校での環境教育を含む)
- ⑤ 最終埋め立て地の整備(衛生埋立を行う)

各村の代表はゴミの量がどんどん増えてきており、その処理に非常に困っていることが報告されました。ワークショップの結論として、今後、各村は上記の5つの要素を各村で実施することになり、その進捗状況を8月のワークショップで報告することになりました。



コンタンジ村のゴミ



タンシンチェ村のゴミ焼場

どこの村でもゴミの処理に頭を悩ましており、県知事も最終処分場の建設に協力すると共に、同時に類似のシステムを他の村で実施して比較したいと、述べました。



ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



日本語教室のコース運営改善を決定

2017年5月以来開講されてきた僧院の日本語教室の現状と問題点について、MJYAのミャンマー人と日本人講師との懇談により以下の点が明らかになりました。

- 現在開講している日本語クラスはいずれも初級で以下の2クラス:(各2時間)
初級クラス(ミャンマー人講師):小中学生が象;毎週土、日の午後3時から5時まで
初級会話クラス(日本人講師):大学生・社会人対象:毎週日曜の午前中
- Daw Thin Thin Yieは5月に大学生と社会人を対象にした日本語クラス初級を土、日の午後を開講したが、受講生がいつもバラバラで、出席したり、欠席したりして不安定であり、且つ一定数が集まらなかった。
- 10月になると試験シーズンのため大学生が来なくなり、また、新しい人が来るようになった。Daw Thin Thin Yieは1カ月に2回は行っていたが、同居している86才の叔母の世話をする人がいなくて、自分がお世話することになり、この家事が忙しくなった。それと同時にNLDの支部長(CEC)に選出され、毎月最初の土、日は会合があり、前支部長が解決できなかった問題を引き継いで解決を図ってきた。このため、11月以降はまったく行けなくなった。2018年度は以上の理由で日本語教室を主導することは出来ない。



初級クラス



中級クラス

以上のことから、コース運営の方法を改善することになり、以下のように改善することになりました。

- 日本語クラスのコースマネジャーを雇い、必要な経費を支給する。また、ミャンマー人の講師には必要な交通費を支給する。

初級クラス

- 初級日本語クラスは、僧院の小中学生を対象とするクラスのみとする。
- 初級は能力の程度によって、「初級の上」クラスと「初級の初」クラスの2クラスとする。
- 初級クラスはN4レベル達成を目標とする。

中級クラス

- 大学生・社会人を対象とする中級クラスは、N3を目指す少数精鋭主義のクラスとする。
- 「中級の上クラス」と「中級の初クラス」の2コースを開講する。

日本語教室学生に奨学金を授与

僧院の日本語教室の間仕切り工事が遅れたため、坂口さんからご寄付をいただいた2016年度予算の奨学金を、日本語教室に熱心に通っている受講生14名を選抜して授与しました。

大学生:3名:K300,000(=\$230) X 3人

小中学生:11名:K120,000(=\$100) X 11人



奨学金を受け取った学生達は、大変喜んで、これからも一生懸命努力したいと、語っていました。

「環境教育」をテーマに卒論を提出

植林ツアーに2年間参加して、「環境教育」の実習を行った、茨城大学の千葉はずきさんが、タンシンチェ村とチョーカン村の小学校3年生と4年生を対象にした「双方向教育の導入」をテーマに、卒業論文を執筆されました。担当教官の野田教授は、卒論は実証データをもとに書かれており、非常に優れた内容であった、と称賛されました。



タンシンチェ村での実習



チョーカン村での実習

2018年度ミャンマー祭りの開催

恒例のミャンマー祭りが6月30日~7月1日に芝増上寺において開催されます。MJETも参加いたしますので、ぜひご出かけ下さい。



mj et

ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



2018年度植林ツアー—学生班の募集

MJETは、参加型エコツーリズム事業として、ミャンマー中部、バガン地域において、2008年から10年間に7つの村で村人と一緒に10500本の苗木を植林しました。また、小学校における環境教育や村のゴミ収集処理モデルの普及を推進しています。

これらの経験を基に、今夏より、MJETは国際開発に関心を持っている学生の卒業論文のテーマを見出すためのフィールドワークを支援することにしました。参加学生は、ミャンマーのヤンゴンとバガンで植林ツアーに参加しながら、フィールドワークを計画し、実施します。このフィールドワークに参加する学生を以下の要領で募集しました。

1. 期間: 8月18日から8月26日まで
(希望により延長可)
2. フィールドワークの分野
初等教育、環境、保健医療、観光、農村開発
3. 募集人数: 5名
4. 参加費用: 約18万円(航空賃により多少の変動あり)
5. 申し込み: 別添「植林ツアー学生班参加申込書」をMJET事務局に提出
送付先: info@mjet-tokyo.com
6. 申し込み締め切り日: 5月18日:
7. 面談日: 5月20日
8. 現地での活動
 - 植林活動
 - 交流会参加
 - フィールドワークの実施
 - 観光
9. 報告書の作成
 - 植林ツアーの記録の担当分野の執筆
 - フィールドワーク報告(将来の卒論のテーマに関するもの)
- 学部1~2年生も一般参加することができます。

植林募金のお願い

2018年度の植林は8月に行います。皆さまからの植林募金をお待ちしています。

「二人の森: 50本」、「家族の森: 30本」
「企業の森: 100本以上」「恩師の森: 100本以上」
「グループの森: 30本以上」
銀行名: 三菱UFJ銀行、四谷支店
口座番号: (普)0023531
名義人: ミャンマーニホン エコツーリズム

植林ツアー事前勉強会を開催

植林ツアーに参加するための事前勉強会と準備会合を以下によりMJET事務局において開催します。

- 第一回勉強会: 5月26日(土)@午後2時~6時
- ミャンマーの社会・経済事情(藤村建夫: MJET 会長)
 - 論文の書き方(藤本耕士 MJET 監事)
 - 参加学生によるFW計画書案の検討
- 第二回勉強会: 6月23日(土)@午後2時~5時
- ミャンマーの環境問題(神田道男、MJET 理事)
 - 環境教育実習のモジュール案の作成
- 第三回勉強会: 7月21日(土)@午後2時~5時
- ミャンマーの教育改善ニーズ(ティティレイ、城西大学客員教授)
 - 経済開発におけるエコツーリズムの役割(中嶋真美、玉川大学准教授)
 - 参加学生のFW計画書改訂版の検討

なお、8月4日と11日に出発の準備のための打ち合わせと演芸の練習を行います。



2018年度、年会費支払いのお願い

会員の皆さま、2018年度の年会費の納入をよろしくお願いいたします。

正会員: 5000円
賛助会員: 10,000円
学生会員: 2000円

送金先:

銀行名: みずほ銀行四谷支店
口座番号: (普)1123255
名義人: ミャンマーニホン エコツーリズム